



平成 29 年 9 月 21 日
海 上 保 安 庁

これまでに海外の海上保安実務者 500 名以上の研修生を輩出！！
救難・環境防災分野における能力向上を図ります！

海上保安庁では、9月25日から約2ヶ月間、独立行政法人国際協力機構（JICA）の枠組みのもと、海外の海上保安機関の現場指揮官クラスを招へいし、救難・環境防災能力向上を目的とした「救難・環境防災」研修を開催します。

本研修は昭和57年から実施され、昨年までにアジア諸国を中心に64カ国2地域から510名の研修参加者を受け入れています。本年度は9月25日から11月17日までの8週間、9カ国18名の海上保安機関職員を招へいします。

この研修期間中、海上保安庁の施設等において、捜索救助のシステム管理、油防除にかかる初動対応、現場指揮などIMOが定めるモデルコースに準拠した救難・環境防災に関する知識・技能を学び、帰国後それぞれの国の海上保安業務の発展に役立てていくことが期待されます。

本研修の受講者の出身国は以下のとおりです。

- 受講者：9カ国18名（うち女性1名）
 バングラディッシュ：1、ジブチ：2、インドネシア：3、ケニア：1、フィリピン：3、スリランカ：4、タイ：1、東ティモール：1、ベトナム：2

主な研修内容及び取材可能日程は別紙を参照してください。

※IMOモデルコース

IMOの各加盟国が国際条約やIMO勧告等の技術的要件を満たすために必要な教育訓練を実施するに当たり、モデルとなるコースプラン、教材、詳細なシラバス等の訓練カリキュラムを示したもの。

<主な研修内容>

- (1) 捜索救助、海上防災、環境保全等に関する講義
- (2) 海上保安庁の施設を使用した実地研修及び巡視船艇・航空機の視察
- (3) 海上防災等に関する施設の視察

<取材可能日程>

以下の日程は取材可能ですので、取材希望日の2日前までにお問い合わせ下さい。

日 時	内 容	場 所
9月25日(月) 14:45~15:15	開講式	JICA 横浜 (横浜市中区新港)
9月27日(水) 09:30~16:30	国別発表会	JICA 横浜 (横浜市中区新港)
10月18日(水) 14:00~17:00	捜索救助通信訓練	横浜海上防災基地 (横浜市中区新港)
10月24日(火) 13:00~17:00	油処理剤効果確認実習(実験水槽) オイルフェンス及び回収装置による油回収実習(造波プール)	海上災害防止センター 防災研修所 (横須賀市新港町)
10月25日(水) 12:30~17:00	油で汚染された海岸の清掃実習(人工海岸) オイルフェンス展張実習 油回収装置運用実習(実習船)	同 上
10月27日(金) 09:00~10:50	研修生のみで行う油流出事故を想定した 総合実習	同 上
11月7日(火) 09:30~12:00	油分析実習	海上保安試験研究センター (立川市泉町)
11月17日(金) 11:30~12:00	閉講式	JICA 横浜 (横浜市中区新港)

研修の様様



捜索救助通信訓練



オイルフェンス展張実習